

ごあいさつ

本校の前身である旧小清水中学校は昭和 22 年(1947 年)に開校し、昭和 43 年(1968 年)に水上中学校と統合、新小清水中学校として開校しました。平成 25 年(2013 年)には校舎を新築し、平成 29 年(2017 年)に小清水小学校と小中一貫校（施設分離型）として新たなスタートを切りました。

ここ小清水町の基幹産業は農業であり、町内には広大な畑が広がっています。その市街地中央にある高台に小清水中学校は立地しております。木々に囲まれ自然豊かな環境の中にある校舎は、ゆったりとした広い廊下などゆとりのある空間が多く、落ち着いた気持ちにさせてくれます。校庭の広い芝生と見ごたえある桜が春の風物詩です。教室にはエアコンも整備され、冬の床暖房とあわせて、1 年中快適な環境で学習できます。横にはスキー場があり、学校からまず滑って降りることができるなど、たいへん環境に恵まれている学校でございます。

今年度の重点教育目標は「友と学び、共に成長する」です。自分の学びが仲間の学びとなり、仲間の学びが自分の学びとなるという互いに貢献し合う活動を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を推進しております。学力の向上ばかりでなく、自己有用感の獲得や信頼関係の構築も目的としております。生徒が安心して成長できるよう職員一同頑張っているところです。

本校は、小中一貫校になったことで、他校にはあまりない取組の一つに小学校 6 年生の中学校登校があります。6 年生教室を通年で設置して、登校日には小学校の担任の先生が普段通り授業をします。中学生との交流や中学校教員の授業、冬場の連続登校では部活動の体験もあります。また、小中相互の乗り入れ授業も行っており、学力向上や教育課程・生徒指導などのスムーズな接続を目指しております。

「すべての子の可能性を最大限に伸ばす」という目標の下、「小中教職員全員で 9 年間を育てる」という心構えで進めております。

最後になりますが、小清水中学校職員一同、地域の皆様にとって応援したくなる学校になるよう努めてまいりますので、本校の教育活動へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

令和 5 年 4 月

小清水町立小清水中学校

校長 岸 澄美子